

品質保証体制の改善に向けて全力をあげて取り組みます

当社再処理施設の使用済燃料貯蔵プールからのプール水漏えいなどの問題が発生したことにより、県民の皆さまには多大なるご心配をおかけしました。心よりお詫び申し上げます。
今後、当社は、再発防止に向けて品質保証体制の改善策を確実に実行してまいります。

使用済燃料貯蔵プールの補修を完了

- ・燃料貯蔵プールの漏えい検知装置で確認された1時間あたり約1リットルの出水は、調査の結果、平成14年2月にプール水の漏えいであることを確認しました。
- ・漏えいの原因は、燃料貯蔵プールの内側に張られたステンレス製の板を溶接する際に、問題のある施工が行われ、その後、時間の経過とともに、その施工箇所小さな穴が発生したことによるものでした。
- ・このため、平成15年1月から燃料貯蔵プールおよびこれと同じ構造をもつすべての設備を徹底的に調査しました。
- ・調査の結果、291箇所の問題のある施工箇所を確認しました。
- ・本年1月にこれら問題のある施工箇所の補修をすべて完了し、健全な状態に復旧しました。



補修作業の様子



補修作業後の様子



補修終了後の貯蔵プール

再処理施設の健全性を確認

- ・プール水の漏えいなど、多数の問題のある施工が明らかになったことから、再処理施設が設計どおりに施工されているかどうかを確認するため、約27万基の設備および建物を対象として、書類点検や現品点検を実施し、健全性を評価しました。
- ・点検の結果、図面と現品の相違を4件(弁66台)確認し、必要な改修を行いました。
- ・これらの点検および改修により、再処理施設が健全であることを確認しました。



現品点検 ポンプの寸法を測定している様子



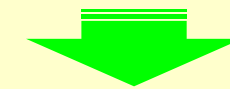
現品点検 成分分析計を用いて材質を確認している様子

品質保証体制の改善に向けた取り組み

品質保証体制の改善にあたっては、プール水の漏えいはもとより、過去に発生したトラブルなどの原因を分析し、その反省点を踏まえて、4つの改善策を策定しました。

反省点

化学安全の観点および不具合発生時の影響(補修の困難さ)を考慮した品質保証上の配慮が十分でなかった
施工段階の品質保証の重要性に対する認識が十分でなかった
使用済燃料受入れ・貯蔵施設施工時の人員配置に適正さを欠いていた
協力会社と適切なコミュニケーションを行える体制の確立がなされなかった
から の事項に関して、トップマネジメント(社長)の関与が不足していた



改善策1 トップマネジメント(社長)による品質保証の徹底

改善策2 再処理事業部の品質マネジメントシステムの改善

改善策3 品質保証を重視した人員配置と人材の育成

改善策4 協力会社を含めた品質保証活動の徹底

信頼回復に向けた取り組み

- ・信頼回復の柱として、広く社会、地域の皆さまの声を伺う広聴活動に重点を置くこととし、経営層が、直接、地域の皆さまのご意見やご指摘を伺う「地域会議」を設置します。
- ・社内に「広聴政策会議」を設置し、「地域会議」などで得られた結果について、各事業の状況を踏まえながら、経営に活かすよう議論を行います。
- ・ホームページを一層分かりやすくするとともに、品質保証体制の改善策の実施状況などを積極的に公開します。